



HAPPINESS CREATOR
NITOBE

NEWS RELEASE

学校法人 新渡戸文化学園



学校法人新渡戸文化学園（東京都中野区、理事長 平岩国泰）が『新しい教育のあり方 スタディツアー～地域と生徒の未来創造の旅～』 「2024年度グッドデザイン賞」金賞 経済産業大臣賞 （主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

新渡戸文化学園のスタディツアーがグッドデザイン賞のベスト20にあたる金賞を受賞しました。本学園では、2019年より従来の大人数で観光地に行く修学旅行から、自分の意志で選んだ日本の地域を旅するスタディツアーにトランスフォームしました。地域の伝統文化と教育がつながる“旅”で、生徒と地域が共に変容していく姿などが高く評価されました。

□『新しい教育のあり方 スタディツアー～地域と生徒の未来創造の旅～』

□概要

行先：20箇所（パトナリア）、生徒が行先を選択、何度も同じところに行くことが可能。

対象：中高生（異学年メンバー）

旅の回数：6年間で最大7回

1箇所の人数：10名以内の少人数制で実施

自らテーマや行き先を選択し、地域の人と繋がり、「暮らす」ことで衣食住の源流や地域独自の文化に関わる。お米と味噌と寝袋を持参し、基本は、自炊で暮らすように旅する中で、地域との協働を行う。



GOOD DESIGN AWARD 2024

グッドデザイン金賞



受賞理由：[審査員からの評価コメント]

未曾有の事態に突然直面したとき、どのように解決すればよいかを考えるのは困難だ。初めての事象に、過去の事例を当てはめるだけでは役に立たない。新たな未来を創造するためには、目の前の事実と向き合い、考え、それを実現する力が求められる。しかし、与えられた課題をただこなすだけでは、その力は身につかないだろう。これは、学生が自ら学ぼうとする意欲を醸成し、現実の社会と結びつける取り組み。日本全国に広がる受け入れ地から、中高一貫校の学生たちが自分の好きな場所を選び、旅に向かう。彼らは知らない大人たちと出会い、時には課題を見つけ、それを実際の活動へと繋げていく。この取り組みは、法人の設立や、この経験を積んだ卒業生たちのサポートも受けながら継続されており、受け入れ地域も拡大している。修学旅行のフォーマットを再編集することで実現した視点も含め大変高く評価した。この取り組みが全国に広がることを切に願っている。

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>

グッドデザイン金賞を受賞した20件は、2024年度に選ばれたすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、特に優れたデザインと認められるものとして、経済産業大臣賞となります。



GOOD DESIGN
AWARD 2024

次回、スタディツアーは、以下の日程で実施いたします。
2024年11月13日（水）～16日（土）（三重県熊野市二木島町）
こちらの取材等をお申し込みの方は、広報室までお問い合わせください。

スタディツアーについて→
詳しくはこちら



学校法人 新渡戸文化学園 広報室

（東京・中野区／教育／292名）

所在地：〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1

●TEL：03-3381-0196（広報担当：鈴木・中ノ瀬）

●HP：<http://nitobebunka.ac.jp>

●mail：a_kouhou@nitobebunka.ac.jp



HAPPINESS CREATOR
NITOBE